



ビジネスレポート Vol. 3

2013年4月1日 ▶ 2014年3月31日

技術の翼と革新の心。
Wings of technology and spirit of innovation.



武家屋敷の塀と夏みかん(山口県萩市)

Contents

1 トップメッセージ

2-3 トピックス

宇部興産機械(株)が宇部テクノエンジ(株)と統合 ほか

4 連結業績ハイライト

裏表紙 会社情報・株式情報

宇部興産株式会社

証券コード 4208

“ビジネスレポート”をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当期の経済情勢は、米国では緩やかな回復が続いたものの、欧州では低迷が続き、アジアでも中国で景気の拡大テンポが減速するなど、世界経済は力強さを欠きました。

一方国内経済は、円安による輸出改善や政府による各種政策の効果が下支えするなかで、景気は緩やかながらも回復基調をたどりました。

このような状況の下、当社グループは、当期を初年度とする三カ年の中期経営計画「Change & Challenge -更なる成長に向けて-」において、3つの基本方針「持続的成長を可能にする収益基盤の強化」「グローバルでのグループ力の最大化」「資源・エネルギー・地球環境問題への対応と貢献」を掲げ、構造的な事業環境の変化にもスピード感を持って対応すべく、各事業課題の解決に向け取り組んでまいりましたが、特に化学部門を取り巻く状況は厳しさが続き、いまだその成果が出るには至っていません。

この結果、当期における当社グループの連結業績は、増収で、かつ当期純利益では増益となったものの、営業利益や経常利益では減益となりました。

なお、当期の期末配当は前期と同じ1株につき5円とさせていただきました。

当社グループは、「非化学部門が収益を下支えしながら、差別化された化学部門を成長の原動力として、グループ全体の成長を図っていく」という当社グループのあるべき姿を目指し、様々な施策を推進していますが、非化学部門が底堅い需要を背景に順調な進捗を見せている一方、厳しい事業環境が続く化学部門は計画と大きな乖離が生じており、化学部門の収益力の回復が目下の最大の課題となっています。

変化の激しい各事業の戦略を改めて見直すとともに、グローバル展開や徹底したコストダウンなど、これまでの取り組みを一層スピードアップし、化学事業の早期建て直しに全力を挙げて取り組んでまいります。

さらに、当社グループでは「CSR（企業の社会的責任）は、社会的公器としての役割を果たすという、企業の経営そのものである」との認識に基づき、コンプライアンスおよびリスク管理等の充実による公正な企業活動を推進するとともに、グループの創業時の理念である「共存同栄」の精神の下、社会との共生を目指し、株主の皆様や資本市場をはじめ、取引先・従業員・地域社会等、すべてのステークホルダーからの信認を深めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

竹下 道夫

UBEグループビジョン

UBEグループは「**共存同栄**」「**有限の鉱業から無限の工業へ**」という創業の理念を踏まえ、右記のグループビジョンを掲げ、化学を中心とした独自技術で未来の価値を創造しています。

技術の翼と革新の心。
世界にはばたく私たちのDNAです。

フロンティアスピリットを胸に、無限の技術で世界と共生するUBEグループは、次代の価値を創造し続けます。

2013

- 4月** セメント原料運搬船「伸星丸」が就航
- 5月** 堺工場に第8期機能膜(セパレーター)製造設備が営業運転を開始
- 6月** 米・ダウとの中国電解液合弁会社「AET張家港」が営業運転を開始
- 7月** インドネシアでPKSの低温炭化実証試験を開始
- 7月** UBEリニューアル工業会が本格始動
- 8月** 新液化炭酸工場の運転開始
- 8月** 宇部マテリアルズ(株)を株式交換により完全子会社化
- 9月** ヘリオフレッシュが「第5回ものづくり日本大賞」特別賞を受賞
- 10月** 宇部日東化成(株)が宇部エクシモ(株)に社名変更
- 10月** 人事部内に「ダイバーシティ推進室」を新設
- 11月** 宇部興産機械(株)が宇部テクノエンジ(株)との統合と100周年記念の式典を開催 **1**
- 11月** シンガポールでセメント受入サイロ事業を開始 **2**

2014

- 2月** ノンブレース型耐震補強工法「デザインUフレーム工法」が建築技術性能証明を取得 **3**
- 2月** 印刷集積回路に応用できる実用レベルのN型有機半導体開発に世界で初めて成功 **4**
- 3月** 合成ゴム製造設備増強工事が完工 **5**
- 3月** 宇部興産機械(株)が東洋機械金属(株)と資本業務提携契約を締結 **6**
- 3月** 抗血小板剤「エフィエント®」が国内製造販売の承認取得
- 3月** 堺工場でのカプロラクタムの製造を停止

topics

1

宇部興産機械(株)が宇部テクノエンジ(株)との統合と100周年記念の式典を開催

10月1日付けで宇部興産機械(株)と宇部テクノエンジ(株)が合併したことで、1914年に宇部興産機械(株)の前身となる宇部新川鉄工所が発足して100年を迎えることを記念し、11月1日に統合と100周年記念式典を開催しました。これまで100年にわたり事業を継続してきた機械事業は、統合により製造・販売・サービスの一体化を進め、多様化するニーズへの対応力を強化し、世界中に『いいもの』を提供、発信してまいります。



topics

2

シンガポールでセメント受入サイロ事業を開始

当社は2011年11月に伊藤忠商事(株)、Pan United社の3社合弁で、セメント受入サイロ事業を行うRaffles Cement社を設立、この度シンガポール・ジュロン港にセメント受入サイロが完成しました。シンガポールでは日本製の質の良いセメントと、日本の製鉄所から産出される高炉スラグが生コンクリート原料に多く使われていることから、当社とRaffles Cement社はシンガポールのインフラ整備発展のため、貢献してまいります。



topics
3

ノンブレース型耐震補強工法 「デザインUフレーム工法」が 建築技術性能証明を取得

「デザインUフレーム工法」は、既存建物の外側に鉄筋コンクリート造の補強フレームを接合する耐震補強工法です。建物の外側に取り付けるため居ながら工事ができ、更に鉄骨ブレースなど斜め材がないので、開放的な窓開口を維持でき、建物の外観デザインにも配慮した画期的な補強工法です。山陽建設サービス㈱と共同開発し、全国展開中の耐震補強工法「デザインフィット工法」のラインナップに加えることで、需要の伸びが期待される公営住宅・マンション・ホテル・病院・事務所ビルなどの耐震補強へ適用拡大を目指します。



性能証明架構実験状況

topics
5

合成ゴム製造設備 増強工事が完工

千葉石油化学工場で合成ゴム(ポリブタジエンゴム)の増強設備を完工、稼動しました。増強能力は年産1.6万トンで、これにより同工場の総能力は12.6万トンに拡大し、国内最大級のポリブタジエンゴムの製造拠点としての位置付けがより強固なものとなりました。ポリブタジエンゴムの用途は8割程度が自動車タイヤ向けであり、自動車タイヤメーカーの増設等もあり、需要は拡大しています。2014年度にはマレーシアの工場も稼動する見込みです。



topics
4

印刷集積回路に応用できる 実用レベルのN型有機半導体 開発に世界で初めて成功

当社と山形大学は共同でN型有機半導体材料を開発しました。半導体にはN型、P型の2種類があり、この2つを組み合わせることで電気の流れをうまくコントロールすることができますが、今まで印刷で作れる安価な有機半導体には、P型しか実用レベルの性能を持ったものがありませんでした。今後は様々な企業と連携し、印刷による集積回路の製造を実証するとともに更に高性能な半導体の開発を継続してまいります。



topics
6

宇部興産機械(株)が 東洋機械金属(株)と 資本業務提携契約を締結

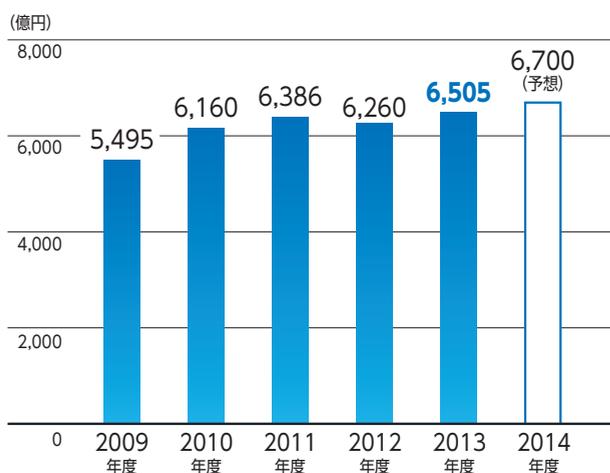
宇部興産機械(株)は大型のダイカストマシンの製造販売では世界屈指の実績を誇っており、東洋機械金属(株)は小型のダイカストマシンの製造販売に強みがあります。既に東洋機械金属(株)とは中国でのダイカストマシン生産と電動ダイカストマシンの開発を協力して進めていますが、更にダイカストマシンの開発・生産・販売等において提携を拡大することで合意し、3月27日に資本業務提携契約を締結しました。



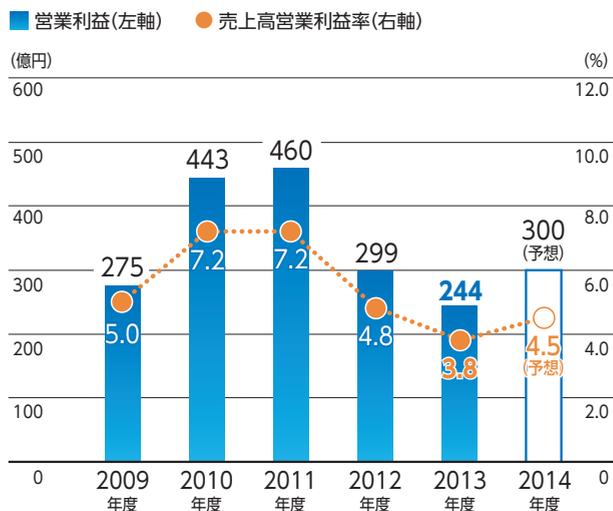
東洋機械金属(株)との共同開発機

連結業績ハイライト

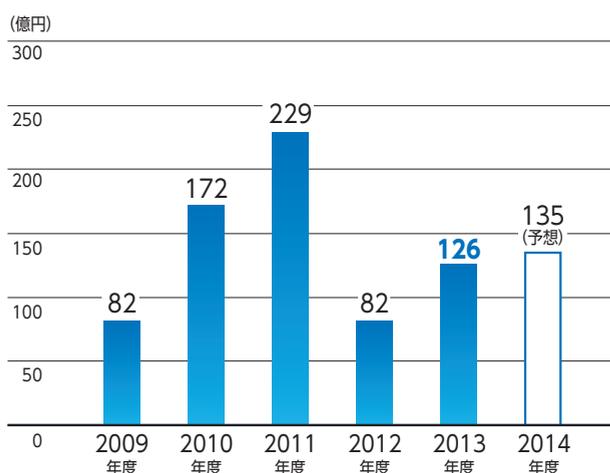
売上高



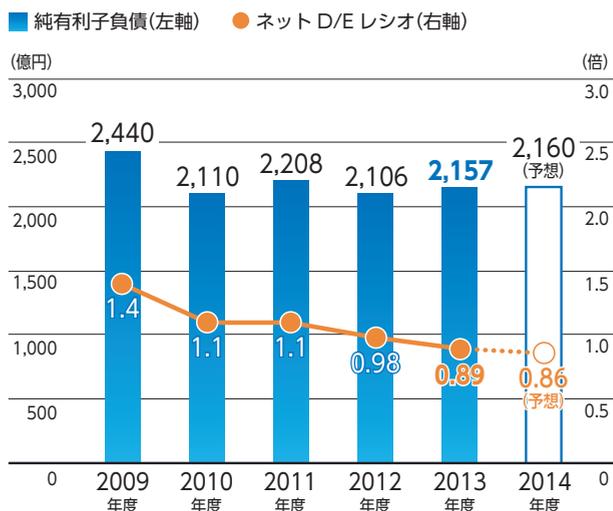
営業利益と売上高営業利益率



当期純利益

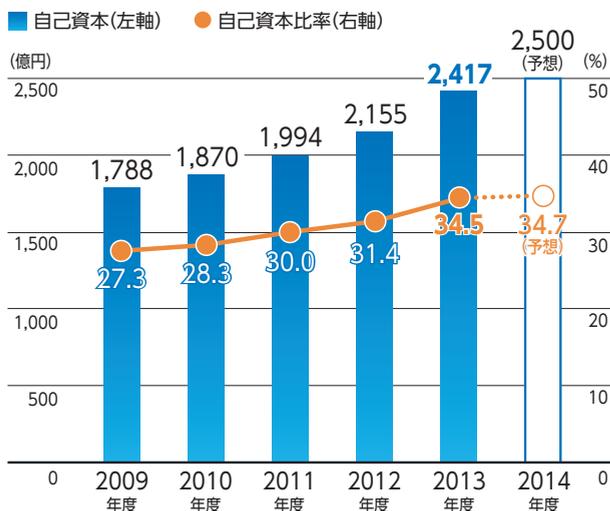


純有利子負債とネットD/Eレシオ*



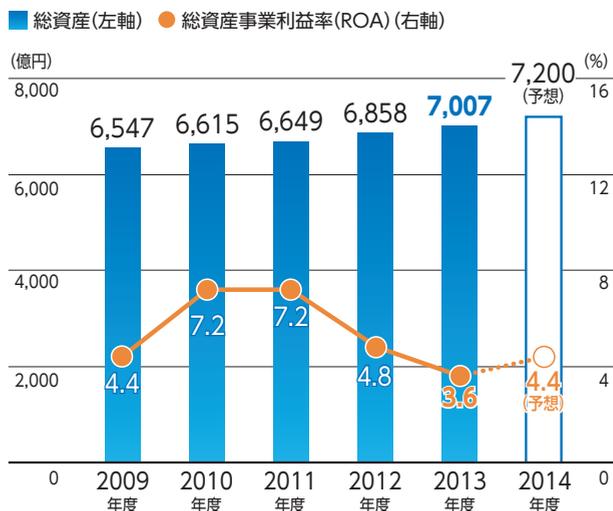
* ネットD/Eレシオ =
純有利子負債 (=有利子負債 - 現金・現金同等物) / 自己資本

自己資本と自己資本比率*



* 自己資本比率 =
自己資本 (=純資産 - 新株予約権 - 少数株主持分) / 総資産

総資産と総資産事業利益率 (ROA)*



* 総資産事業利益率 (ROA) =
事業利益 (=営業利益 + 受取利息・受取配当金 + 持分法投資損益) / 総資産

会社概要

設立 1942 (昭和17)年3月
 資本金 58,434百万円
 従業員数 4,262人 (連結 11,225人)
 連結対象会社 89社
 (連結子会社65社、持分法適用会社24社)
 ホームページアドレス <http://www.ube.co.jp>

役員

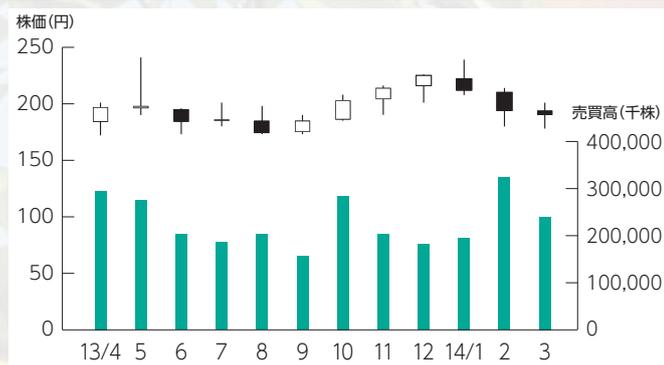
取締役		監査役	
取締役会長	田村 浩章	常勤監査役	三宅 節郎
代表取締役社長	竹下 道夫	常勤監査役	喜多村 尚也
代表取締役	山本 謙	監査役(社外)	杉尾 整
取締役	泉原 雅人	監査役(社外)	落合 誠一
取締役(社外)	元田 充隆		
取締役(社外)	東 哲郎		
取締役(社外)	草間 高志		

株式の状況

発行可能株式総数 3,300,000,000株
 発行済株式総数 1,059,897,524株 (自己株式2,103,552株を除く)
 株主数 74,867名
 大株主

株主名	株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	67,429	6.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	57,668	5.44
全国共済農業協同組合連合会	34,994	3.30
日本生命保険相互会社	20,000	1.89
住友生命保険相互会社	20,000	1.89
818521/ムラバンク ルクセンブルク エス エー プレツジッド アセツツ フロム ムラマルチ シー シー ワイ ジャパン ストック リーダーズ ファンド	18,260	1.72
株式会社山口銀行	15,482	1.46
ピーピーエイチ ポストンカスティアンフォーブラックロックグローバル アロケーションファンドインク620313	13,796	1.30
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,500	1.27
ステートストリートバンクウェストクライアントトリティー	12,769	1.20

株価及び出来高 (東京証券取引所)



配当金推移

1株当たり配当金

2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
4.0円	5.0円	5.0円	5.0円	5.0円	5.0円 (期末配当予定)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日より翌年3月31日まで
定時株主総会 開催時期	毎年6月下旬開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告の方法	電子公告 (http://www.ube.co.jp)
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	証券会社の口座を 開設されている株主様 のお問い合わせ先	証券会社の口座を 開設されていない 株主様のお問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増	お取引先の証券会社	三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部
住所・氏名などの変更		
株式の口座振替請求		
配当金受取り方法の指定		
未払配当金のお支払	三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部	
その他株式事務について		

単元未満株式(当社では1~999株)の買取・買増について

当社株式の市場取引は1,000株単位となっております。単元未満株式をお持ちの場合、端数の株式が整理できる買取・買増制度を設けております。

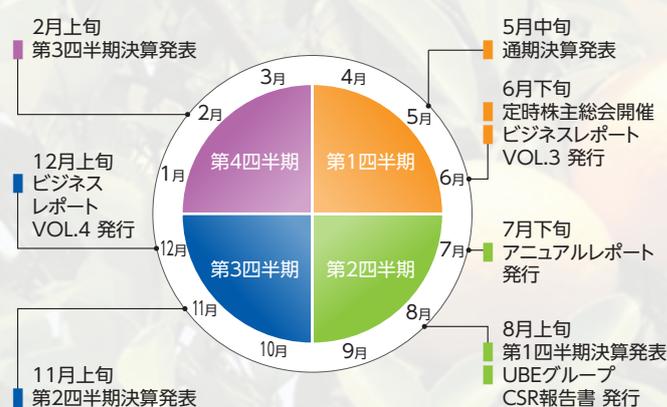
買取請求とは

お持ちの単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができるとの手続きです。

買増請求とは

お持ちの単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しを請求することができる手続きです。

IRカレンダー (2014年6月~2015年5月)



宇部興産株式会社

東京本社 〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
 宇部本社 〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96



*本ビジネスレポートに記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おきください。

環境に配慮した古紙パルプ配合率70%再生紙と植物油インキを使用しています。見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。